



公共事業に係る効果等について

重要港湾改修事業

伊万里港 七ツ島地区

(港湾課)

◇事業概要

◇事業名:重要港湾改修事業

◇箇所名:伊万里港 七ツ島地区

◇所在地:伊万里市黒川町塩屋

◇工期:平成19年度～平成24年度

◇総事業費:約622百万円

◇事業内容:岸壁(水深9m) $L=36m$ 、 泊地(水深9m) $V=30,000m^3$

◇整備前状況

貨物取扱岸壁が1バースしかないため、貨物船の沖待ちが発生し、貨物輸送の定時性確保に支障が生じていた。

既存岸壁延長では、年々増加する傾向にあるコンテナ貨物量への対応が困難となっており、荷主にとって非効率な貨物輸送形態となっていた。

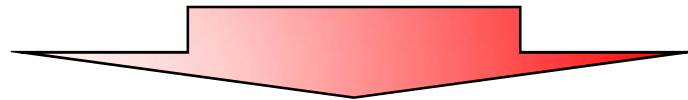
◇整備後状況

直轄事業の岸壁(水深13m)と一体的に整備したことによって、荷役作業時間が短縮され、コンテナの取扱量が増加した。

◇背景と目的

○既設の岸壁(水深9m)のみでは年々増加するコンテナ貨物量の対応が困難となり、コンテナ取扱量が横ばいとなっていた。

○1バースしか貨物取扱岸壁がなく、コンテナ船の滞船(沖待ち)が発生し、貨物輸送の定時性確保に支障が生じていた。



○直轄事業の岸壁(水深13m)と航路・泊地整備と一体的に事業を行うことにより、荷役作業時間の短縮を実現し、コンテナ取扱量の増加を図る。

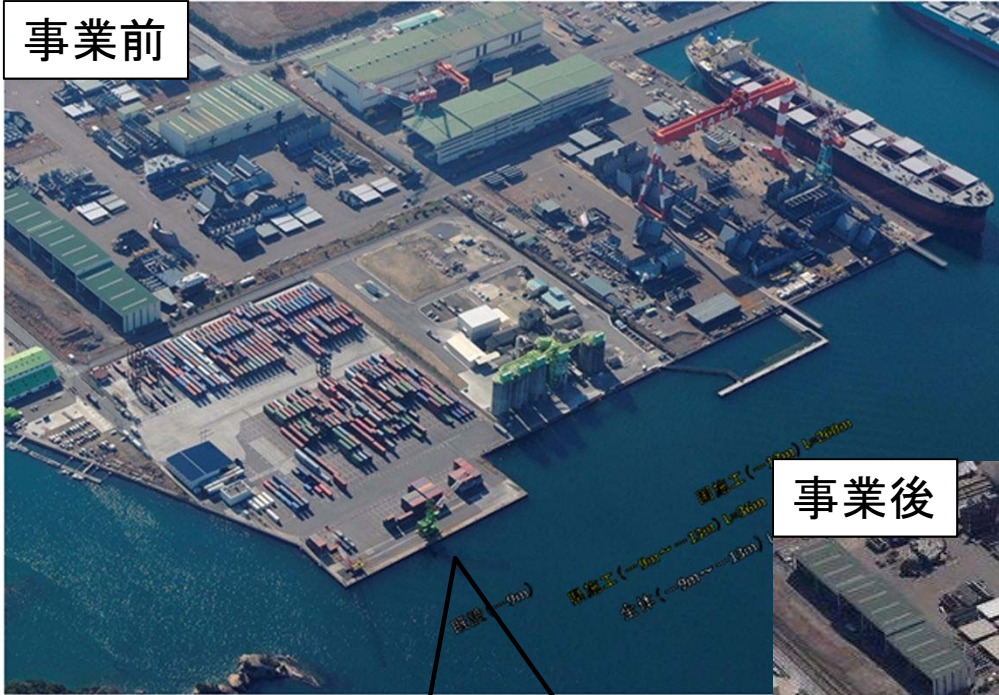
○バース数が増加することによる海上交通の混雑緩和を図る。

◇整備計画



◇整備効果

事業前



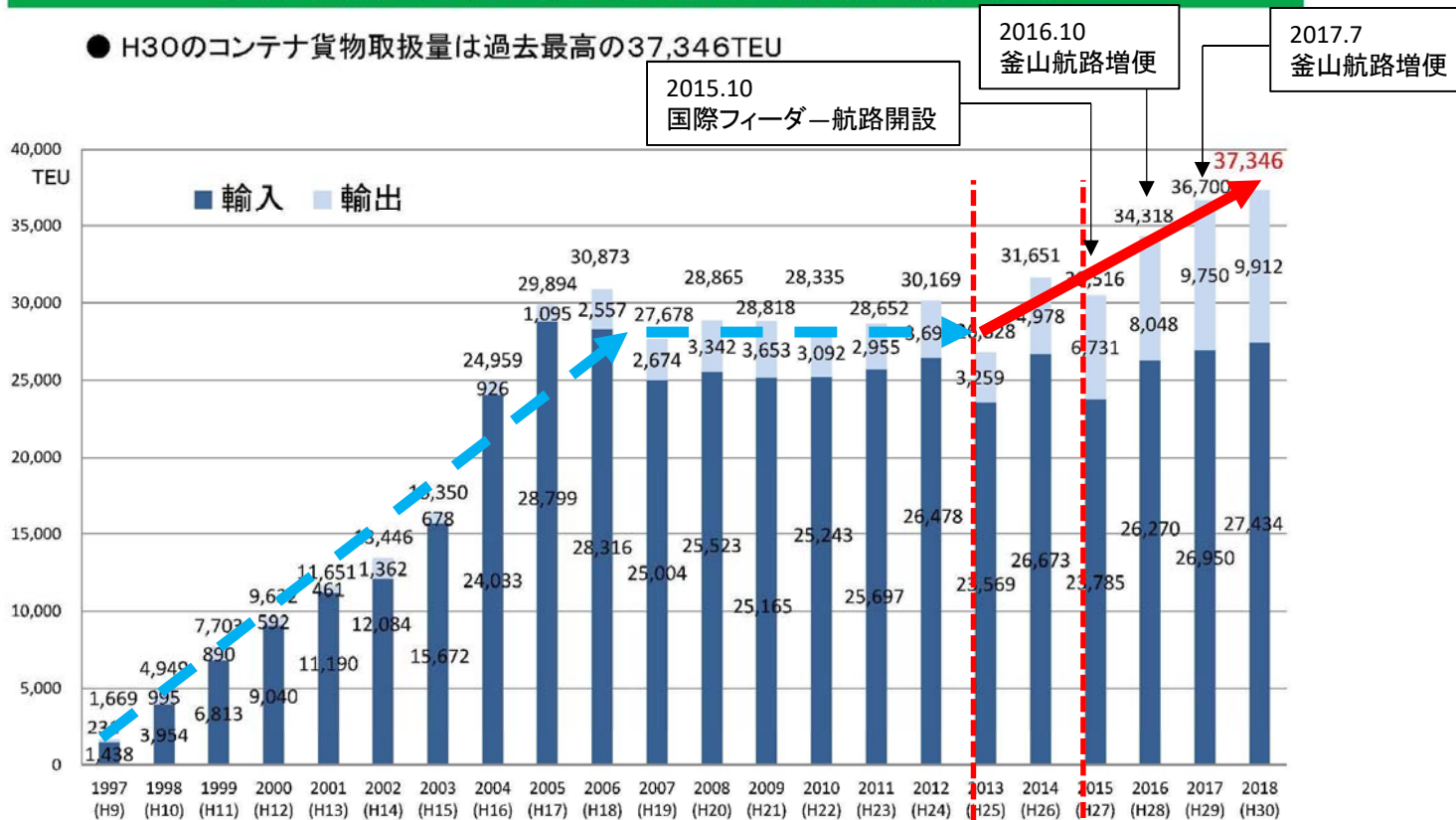
事業後



◇整備効果

直轄事業との一体的な整備が完了し、2013年4月に暫定供用、2015年4月に正式供用されてから、実入りコンテナ取扱量が年々増加した。また、取扱量の増加に伴い、航路の開設及び増便がなされ、荷主の利便性が向上した。

伊万里港コンテナ貨物取扱量の推移(輸出入別)



※ H26、H28、H29には、輸出に移出コンテナをそれぞれ 41TEU、15TEU、3TEUを含む。また、H27以降は国際フィーダー航路を含む。

岸壁(水深9m)

岸壁(水深9m)+岸壁(水深11m)

岸壁(水深9m)+岸壁(水深13m)

◇利用者(企業)の声

○岸壁(水深9m)と岸壁(水深13m)が一体的に整備され、複数船舶の同時接岸が可能になり、荷役効率が向上した。

○荷役効率が向上したことにより、荷役作業の短縮および安全性が向上した。